

## 「今月のことば」

「紫

陽花や 昨日の誠 今日の  
有名な一句で、人の心の移り変わりを  
花に喩えて詠んだ句です。

2年以上続くコロナ禍、ウクライナ  
侵攻、さらには地震や大雨による自然  
災害など、この時期の曇天のような世  
情で、心も暗くなってしまいがちでは  
ないでしょうか。そのなか、ちょっと  
自分の心を覗いてみるとどうでしょう。  
些細なことでカッと怒っていると思え  
ば、今度は楽しく笑っている。毎日さ  
まざまな要因によって心は振り回され  
ています。

いながらおっしゃっていました。

よくお話を聞いてみると、ご先祖さ  
まやお浄土のことを想ってお念仏をと  
なえていると、自分自身の悩みや愚痴  
がだんだんと頭の中を駆け巡り、さら  
にお念仏を続けると、自然と阿弥陀さ  
まのお顔を見ながらお念仏をするよう  
になったそうです。

宗祖法然上人は、念仏信者からのさ  
まざまな質問に上人がお示しになった  
お答えをまとめた『一百四十五箇条問  
答』の中で、「どうしても心に妄念（煩  
悩）が起きてしまうのをどうしたらよ  
いか」という問に対し、「ただよくお



## 「とな 称えるうちに 雲晴れて



Vowing with a deep mind to attain  
Birth in the Pure Land while you chant  
Namu Amida Butsu naturally deepens  
your faith in Amida Buddha.

揮毫 大本山善導寺  
第67世法主 阿川文正台下

仏教では、特に身を滅ぼしてしまう  
煩惱のことを「三毒」といい、貪（む  
さぼり）・瞋（いかり）・痴（おろかさ）  
の三つを指します。これらの煩惱をど  
うしても抱えてしまうため、私たちは  
皆迷いの世界に生きる凡夫なのです。

月参りの際、あるお檀家さんとお話  
をしていた時のことです。「お念仏は  
ありがたいですね。何かあったらお念  
仏をとえながら、仏さまに愚痴を聞  
いてもらっているんですよ。すると心  
が軽くなった気がして、気付くと仏さ  
まのお顔が目の前にあるんです。一種  
のカウンセリングみたいですね」と笑

念仏をしなさい（念仏すれば、妄念も  
静まりますよ）」とお答えになられま  
した。

私たちは日々生きていくうえで、つ  
いつい心の中を煩惱で曇らせてしま  
いがちです。しかしながら、一心にお念  
仏をおとなえするうちに、阿弥陀さま  
の光明が、心を明るく照らし、晴らし  
てくださいます。

世情や気候によって、心まで塞がっ  
てしまう時機ですが、今こそお念仏を  
となえる日々を送ってみてはいかがで  
しょうか。

（大分市浄土寺 結城文親）